

SaftyCar (00カー)

<役割>

◎競技前の最初で実質、最後の砦。

全日本戦でも競技車の前は00, 0の2台体制。

問題は、00カーがすべて解決することを目指す

0カーに依頼するのは最終手段。

解決できない場合は、SSのキャンセルを競技長に提言できる権限を持つ。

◎最後の宅急便

00カー通過後は本番体制になるため、0カー以外にコースには車両、オフィシャルは入れない。備品不足等の配布にも協力し、通過後は臨戦態勢であることを徹底する

◎タイムカードの記載の練習台

オフィシャルは初めて記入するのでミスも多い。正しく記載されているかチェックすること。

<事前作業>

◎コースカースケジュール

1周目は確認項目が多い。SSの距離、配置ポジション数、さらに次のSSまでの距離も考えて競技長と相談し、スタート時間を決める。

◎Safty Plan (以下SP)

SS内配置図を事前に確認し、チェックリストを作成し、不明を明らかにしておく

◎備品

予備の備品の積み込みについては、備品担当と相談して決めておく。

特にコーステープ、タバードが不足すること多く、予備を車載しておくこと。

また、TC0が設置されていないことも考え、タイムカード入手しておく

ヘルメットは不要で、レーシングスーツの着用は競技長と相談（原則、不要）

サイレンは（拡声器）は強く推奨する

<レキ>

◎SS内のポジション確認

SS内のポジション、特にコース閉鎖（フィシャル配置又はテープのみ）の場所は本番中に迷わないよう確認しておき、疑問のある場合は競技長に確認

◎設置物、路面状況の記録

<競技本番>

◎スタート前

スタートリストの配布方法を競技長、計時委員長と相談

◎TC 0～TC1

TC カードを受け取り、TC の設置状況を確認

⇒TC0 は設置されていないことも多く、タイムカードは事前に確保ておく。

設置されていない場合は 0 カードに依頼する

無線チャンネルは次の SS に合わせ、事前に SS 内のトラブルを認識しておく

◎TC1

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、時計を確認。

スタートリストの配布

時間調整は TC ではなく、SS スタートでおこなう。

◎SS スタート

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、スタートシステム FIV、レッカーの配置を確認。

スタートリストは 3 部（山長、スタートラー、トラッキング）配布

無線状況の確認（トラッキングポイント、HQ）

山長に最終オフィシャル配置の確認

山長に懸念事項確認

フライング（2～3 秒前）でスタート

◎ラジオ

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、消火器、赤旗を確認。

旗を提示する位置と提示するオフィシャルのタバード（ラジオタバード）の確認

スタートリストの配布

◎枝道

テープ、オフィシャルカーの位置の確認

余裕があればスタートリスト配布

◎F F

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板を確認。

光電管＆反射板の位置が競技車に近くないか確認

光電管を切る前に切ってよいか確認

通過時刻（秒程度）を読み上げ、光電管の計時と確認

スタートリストを配布

◎S T O P

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、消火器を確認。

スタートリストは 3 部（副山長、記録員、トラッキング）配布

設置状況(完了 or 条件付き)を競技長に無線で報告し、開設許可の判断を依頼する

※オブザーバーがいる場合は、オブザーバーにも確認

◎ S S 終了後

競技長に電話にて連絡（オブザーバーからの指摘等を伝達）

無線チャネルを次の S S に合わせる

◎ ガスコン

営業時間等の確認のため、必ず立ち寄る

◎ リエゾン

当日の天候・渋滞で遅れが出そうな場合は HQ へ報告

交通取り締まり等がある場合は無線ではなく、電話にて競技長に連絡

◎ サービス

車両に問題ない場合、サービスは T C 処理して通過し、次のセクションをスタートして

HQ にて競技長に報告、打ち合わせをし、休憩も HQ でとる